

事業シート(令和7年度予算)

事業名	94700 市内遺跡発掘調査事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性			根拠計画	教育振興基本計画		
						款	9	教育費			ポイント						
						項	4	社会教育費			政策分野	2	こども・教育・交流				市長公約
						目	7	文化財費			施策分野	(3)	歴史文化				
担当課	教育委員会事務局 文化財課			内線	2354												

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・埋蔵文化財を保護し次代に伝える。 ・県指定史跡の国指定への格上げ	概要	・開発事業により影響を受ける埋蔵文化財の記録保存 ・保存活用に必要な遺跡の内容確認 ・国指定に向けた調査の実施
----	--------------------------------------	----	---

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R11目標
「文化財や伝統芸能が保存・継承され、郷土の歴史文化に誇りを持っている」と感じている市民の割合	72.9%		
国・県指定・登録文化財の件数	178件		

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6			
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
		5,280	2,816	4,010			
特定財源	国費 (埋蔵文化財発掘調査事業費1/2)	2,640	946	2,000			
	県費 ()						
	その他(宿泊税)						
一般財源		2,640	1,870	2,010			
新規・拡充	主な事業内容						
	試掘・範囲確認調査、整理	1,910	1,409	1,730			
	松倉城跡・広瀬城跡等の国指定に向けた調査	3,370	1,407	2,280			
○ 1	高山城跡の保存活用に向けた調査						

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・三仏寺廃寺跡、殿屋敷遺跡・殿屋敷跡等の試掘等確認調査の実施 ・松倉城跡総合調査報告書の刊行
評価等	・開発事業に伴う埋蔵文化財包蔵地の照会対応、試掘調査等を実施し、埋蔵文化財保護を推進した。 ・松倉城跡の国指定に向けて調査成果をまとめた総合調査報告書を刊行した。
次年度以降の考え方 (担当課)	・開発に対応するため、継続して事業を実施する。 ・松倉城跡等の国指定に向けた取り組みを行う。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方 (担当課)	☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

4.令和7年度予算編成(Action)

(千円)

R7予算		実施計画額	6,720
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
6,718	6,720	6,720	2,710
2,699	2,700	2,700	700
		660	660
4,019	4,020	3,360	1,350
査定額	説明		
1,580			
3,820			
1,320			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課	・開発事業などに対応するための緊急目的の発掘調査に必要な経費を計上
予算要求	・広瀬城跡の国指定に向けた調査に必要な経費を計上
ポイント	・高山城跡の保存活用に向けた調査に必要な経費を計上

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・積算内容を精査

事業シート(令和7年度予算)

事業名	94700 市内遺跡発掘調査事業費	区分	☐ R6新規	☒ R7新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	教育委員会事務局 文化財課
			☐ R6拡充	☐ R7拡充		款	9	教育費		
枝番・内容	1 高山城跡の保存活用に向けた調査		☐ その他重要事業			項	4	社会教育費	内線	2355
			☐			目	7	文化財費	作成年月	R7.2

事業の目的・概要(Plan)

目的	・将来にわたる歴史文化の保存、継承と地域資源として活用を図る。 ・ふるさとへの興味関心や郷土に対する誇りを高めるとともに愛着を深める。	概要	・高山城跡の保存活用に向け、石垣に関する調査することで、普請の過程を明らかにし、歴史的価値を高める。
----	--	----	--

[参考] R5決算(Do・Check) R6.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

[参考] R6当初予算(Action) R6.3時点 (千円)

予算額	当初	
主な経費		
対前年度増減額(当初予算)		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

R6決算(Do・Check) R7.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

R7当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	1,320
主な経費	・委託料 1,320千円	
対前年度増減額(当初予算)		1,320

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等		
[事業実績]		
[評価等]		
次年度以降 の考え方 (担当課)		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
[スケジュール]	

事業実績、評価等		
[事業実績]		
[評価等]		
次年度以降 の考え方 (担当課)		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
[スケジュール]	
R7.4～ 事業実施 R8～9 専門家指導による確認調査 R10 調査報告書作成	

事業シート(令和7年度予算)

事業名	94710 歴史資料等購入事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性			根拠計画	教育振興基本計画
						款	9	教育費			ポイント				
						項	4	社会教育費			政策分野	2	こども・教育・交流		
						担当課	教育委員会事務局 文化財課	内線		2977	目	7	文化財費		分野別 施策分野

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・郷土に関わる歴史資料の流失、散逸を防ぐとともに、市民の郷土学習に役立てる。	概要	・郷土に関わる歴史資料を購入する。
----	--	----	-------------------

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R11目標
「文化財や伝承芸能が保存・継承され、郷土の歴史文化に誇りを持っている」と感じている市民の割合	72.9%		

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
						増減 (b)-(a)
特定財源	国費 ()					
	県費 ()					
	その他 ()					
一般財源		1,000	848	1,000		
新規・拡充	主な事業内容					
	歴史資料等の購入	1,000	848	1,000		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・郷土に関わる歴史資料の購入 購入資料件数 3件 流出、散逸を防いだ件数 3件
評価等	・郷土に係る貴重な資料の流出、散逸を防止した。 ・飛騨高山の文人の活動や、文人同士の交流などを知ることができる資料を入手することができた。
次年度以降の考え方 (担当課)	・継続的に郷土の歴史資料の購入を進める。 ・飛騨高山まちの博物館における特別展や常設展等の展示を通じて、市民への公開を実施する。 ・学校などへ、資料の活用に向けた情報提供を行う。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方 (担当課)	☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

4.令和7年度予算編成(Action)

(千円)

R7予算		実施計画額	1,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
1,000	1,000	1,000	0
1,000	1,000	1,000	0
査定額	説明		
1,000			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・郷土の歴史資料の購入に必要な経費を計上
---------------------	----------------------

財務部 査定の 考え方	・要求どおり
市長査定の 考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和7年度予算)

事業名	94720 文化財保護事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	2	地域活動や産業、福祉など様々な分野における人への投資	根拠計画	教育振興基本計画、過疎地域持続的発展計画	
						款	9	教育費			ポイント	(2)	地域の元気を支える未来の担い手づくり			
						項	4	社会教育費		分野別	政策分野	2	こども・教育・交流	市長公約		
						目	7	文化財費			施策分野	(3)	歴史文化			
担当課	教育委員会事務局 文化財課			内線	2354											

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・地域で文化財を保存活用する活動を支援し、文化財の保存を図る。 ・文化財保護行政の円滑な執行	概要	・文化財保存団体に対する助成 ・史跡や伝承芸能の保存団体の運営・活動に対する助成 ・文化財関係の協議会等への参加
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R11目標
「文化財や伝承芸能が保存・継承され、郷土の歴史文化に誇りを持っている」と感じている市民の割合	72.9%		
国・県指定・登録文化財の件数	178件		

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
		14,311	13,324	14,516		
特定財源	国費 ()					
	県費 (無形文化遺産伝承事業費1/2、県移譲事務交付金)	1,141	1,158	1,158		
	その他()					
一般財源		13,170	12,166	13,358		
新規・拡充	主な事業内容					
○ 1	文化財保護団体の保存活動に対する助成	10,778	10,388	11,083		
	無形文化遺産伝承事業補助金	2,000	2,000	2,000		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・補助件数 61件 伝統的建造物群保存地区保存会 11団体 高山祭屋台管理 1団体 からくり屋台管理技術伝承保存 1団体 高山祭屋台保存技術後継者育成 1団体 高山祭屋台保存修理技術研修事業・修得 2社、2名 伝承芸能保存団体 17団体 無形文化財・無形民俗文化財保存団体 5団体 史跡保存団体 13団体 国指定文化財管理 7団体 無形文化遺産保存団体 1団体
評価等	・伝承芸能の継承や史跡の整備など、活動団体の積極的な文化財保護活動が行われ、多くの活動団体に利用されている。
次年度以降の考え方 (担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定 ・保存団体と意見交換を行い、情報提供を行うなどの連携を図る。

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方 (担当課)	☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	14,846
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
14,954	14,846	14,846	330
1,158	1,265	1,265	107
13,796	13,581	13,581	223
査定額	説明		
11,393			
2,000			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・地域文化継承への支援に必要な経費を計上 ・伝承芸能保存団体等に対する助成に必要な経費を計上 ・高山祭屋台の保存技術研修に対する助成に必要な経費を計上
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	・精算内容を精査 ・伝統芸能保存団体の活動継続に必要な経費について精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和7年度予算)

事業名	94720文化財保護事業費	区分	☐ R6新規	☐ R7新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	教育委員会事務局 文化財課
			☐ R6拡充	☒ R7拡充		款	9	教育費		
枝番・内容	1文化財保護団体の保存活動に対する助成		☐ その他重要事業			項	4	社会教育費	内線	2355
			☐			目	7	文化財費	作成年月	R7.2

事業の目的・概要(Plan)

目的	・伝承芸能を発表する機会を確保するとともに、伝承芸能の担い手である子どもたちへ継承を行う。	概要	・子どもが中心となつて行う伝承芸能の保存・継承に携わる指導者や保存会に対する支援の見直し。
----	---	----	---

[参考] R5決算(Do・Check) R6.8時点 (千円)

予算額	当初	1,260
	繰越	0
	補正等	0
	最終	1,260
決算額		1,125
対前年度増減額(決算)		

[参考] R6当初予算(Action) R6.3時点 (千円)

予算額	当初	1,260
主な経費	・補助金	
対前年度増減額(当初予算)		0

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

R6決算(Do・Check) R7.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

R7当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	1,625
主な経費	・補助金 1,625千円 うち子供伝承芸能保存連合会への補助額 770千円	
対前年度増減額(当初予算)		365

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等		
[事業実績]		
・伝承芸能保存団体補助金の交付		
[評価等]		
・保存団体が行う技術の継承や、後継者の育成等の活動に活用された。		
次年度以降 の考え方 (担当課)	・保存団体と意見交換を行い、 情報提供を行うなどの連携を図る。	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
・伝承芸能保存団体補助金の交付	
[スケジュール]	
R6.4～ 補助金の交付	

事業実績、評価等		
[事業実績]		
[評価等]		
次年度以降 の考え方 (担当課)		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
・伝承芸能保存団体補助金のうち、子供伝承芸能保存連合会への補助金 の上限を拡充する。 R6 上限405千円 R7 上限770千円 (45千円x団体数)+運営費500千円	
[スケジュール]	
R7.4～ 補助金の交付	

事業シート(令和7年度予算)

事業名	94725 指定文化財保存修理事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性			根拠計画	教育振興基本計画、過疎地域持続的発展計画	
						款	9	教育費			ポイント					
						項	4	社会教育費			政策分野	2	こども・教育・交流			
						担当課	教育委員会事務局 文化財課	内線		2355	目	7	文化財費		分野別 施策分野	(3)

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・国・県・市指定文化財を保護し次代に伝える。	概要	・指定文化財の保存修理に対する助成
----	------------------------	----	-------------------

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R11目標
「文化財や伝承芸能が保存・継承され、郷土の歴史文化に誇りを持っている」と感じている市民の割合	72.9%		

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
						増減 (b)-(a)
特定財源	国費 (国指定文化財修理事業費1/2)	1,500	1,375	1,500		
	県費 (県指定文化財修理事業費2/3)	4,100	3,570	4,750		
	その他()					
一般財源		4,674	5,079	5,670		
新規・拡充	主な事業内容					
	市指定文化財の保存修理	1,917	1,917	1,790		
	国指定文化財の保存修理	3,000	2,750	3,000		
	県指定文化財の保存修理	5,357	5,357	7,130		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・国指定天然記念物臥竜のサクラの保護工事の実施 ・保存修理等に対する助成 ・市指定文化財 栗原神社のスギ、檜谷寺の枝垂れザクラ、錦山神社の大スギ、葛谷のイチイ ・県指定文化財 東山白山神社神楽台、荒城神社神像・随神・鰐口、六廐の夫婦スギ
評価等	・各文化財の状態を把握し、優先順位を決め、計画的に取り組む必要がある。
次年度以降の考え方 (担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定 ・修理等に対する文化財所有者のニーズは大きく、今後も事業を継続する。

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方 (担当課)	☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

4.令和7年度予算編成(Action)

(千円)

R7予算		実施計画額	9,900
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
9,882	9,900	9,900	△ 2,020
1,493	1,500	1,500	0
3,130	3,130	3,130	△ 1,620
5,259	5,270	5,270	△ 400
査定額	説明		
2,200			
3,000			
4,700			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・指定文化財の保存修理に必要な経費を計上
---------------------	----------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定の 考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和7年度予算)

事業名	94750 伝統的建造物群保存地区保存事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性			根拠計画	教育振興基本計画
						款	9	教育費			ポイント				
						項	4	社会教育費			政策分野	2	こども・教育・交流		
						目	7	文化財費			分野別 施策分野	(3)	歴史文化		
担当課	教育委員会事務局	文化財課	内線	2356											市長公約

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・伝建地区内における伝統的な町並みを維持する。	概要	・伝建地区内における伝建物の修理及び非伝建物の修景事業に対する助成等
----	-------------------------	----	------------------------------------

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R11目標
「文化財や伝承芸能が保存・継承され、郷土の歴史文化に誇りを持っている」と感じている市民の割合	72.9%		
重要伝統的建造物群保存地区内の修理・修景の実施済割合	76.1%		

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
						増減 (b)-(a)
特定財源	国費 (伝統的建造物群保存地区保存事業費1/2)	16,550	13,575	12,050		
	県費 ()					
	その他()					
一般財源		17,050	14,070	12,850		
新規・拡充	主な事業内容					
	伝統的建造物群保存地区修理修景に対する助成	33,000	27,073	24,000		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・修理修景に対する助成 5件
評価等	・保存計画に基づき修理・修景を行い、町並み景観の整備を推進した。
次年度以降の考え方 (担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定 ・保存計画に基づき、今後も継続実施する。

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方 (担当課)	☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

4.令和7年度予算編成(Action)

(千円)

R7予算		実施計画額	23,600
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
14,600	23,600	23,600	△ 1,300
7,050	11,550	11,550	△ 500
7,550	12,050	12,050	△ 800
査定額	説明		
23,000			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・伝統的な町並みの保存の推進に必要な経費を計上 ・伝統的建造物群保存地区修理修景事業に対する助成に必要な費用を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和7年度予算)

事業名	94755 伝統的建造物群保存地区防災対策事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性			根拠計画	教育振興基本計画	
						款	9	教育費			ポイント					
						項	4	社会教育費		分野別	政策分野	2	こども・教育・交流		市長公約	
						目	7	文化財費			施策分野	(3)	歴史文化			
担当課	教育委員会事務局	文化財課	内線	2356												

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・伝建地区を災害に強い町並みとするために、伝建地区内の防火帯としての土蔵の整備や防災設備の整備を継続して実施し、防災能力の向上を図る。	概要	・伝建地区内の防火帯としての土蔵等の整備事業に対する補助 ・防災設備等の整備
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R11目標
「文化財や伝承芸能が保存・継承され、郷土の歴史文化に誇りを持っている」と感じている市民の割合	72.9%		
重要伝統的建造物群保存地区内の修理・修景の実施済割合	76.1%		

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
						増減 (b)-(a)
特定財源	国費 (伝統的建造物群保存地区保存事業費1/2)	13,000	12,484	11,500		
	県費 ()					
	その他 ()					
一般財源		14,470	13,704	11,870		
新規・拡充	主な事業内容					
	伝統的建造物群保存地区防災対策(土蔵整備)に対する助成	26,000	24,918	23,000		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・土蔵等整備事業への補助 3件
評価等	・保存計画や防災計画、様々な伝建地区の調査報告などを基に防災整備を行った。
次年度以降の考え方 (担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定 ・保存計画、防災計画に基づき、今後も継続して実施する。 ・伝統構法木造建築物耐震化マニュアルの普及・啓発を進める。

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方 (担当課)	☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

4.令和7年度予算編成(Action)

(千円)

R7予算		実施計画額	25,330
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
34,121	25,330	25,330	1,960
16,012	11,550	11,550	50
18,109	13,780	13,780	1,910
査定額	説明		
23,000			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・防火帯としての土蔵等整備に対する助成に必要な経費を計上
---------------------	------------------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定の 考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和7年度予算)

事業名	94757 伝統的建造物群保存地区拡大事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性			根拠計画	教育振興基本計画			
						款	9	教育費			ポイント							
						項	4	社会教育費		分野別	政策分野	2	こども・教育・交流				市長公約	
						目	7	文化財費			施策分野	(3)	歴史文化					
担当課	教育委員会事務局 文化財課			内線	2356													

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・優れた歴史的な町並みを後世に残すとともに、市民による地域の歴史遺産に対する誇りと愛着を高める。また、国の支援を得て保存整備と活用を図る。	概要	・伝統的建造物群保存地区の拡大に向けた町並み保存対策調査の実施 ・国への選定申出に必要な手続き
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R11目標
保存対策調査、選定	報告書刊行		

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
		100	87	100		
特定財源	国費 ()					
	県費 ()					
	その他 ()					
一般財源		100	87	100		
新規・拡充	主な事業内容					
	重要伝統的建造物群保存地区の選定に向けた取組	100	87	100		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・寺町空町町並み保存対策調査の実施、報告書の刊行
評価等	・町家及び寺社の実測調査、環境物件の調査を行い、報告書を作成・刊行した。
次年度以降の考え方 (担当課)	・令和5年度刊行予定の報告書をもとに、地元住民や市民向けの調査成果の報告会を開催し、町並み保存への理解を深める。 ・国の選定に係る必要な手続きについて、文化庁等関係機関との調整を進める。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方 (担当課)	☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

4.令和7年度予算編成(Action)

(千円)

R7予算		実施計画額	1,280
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
1,277	1,280	1,280	1,180
1,277	1,280	1,280	1,180
査定額	説明		
1,280			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・伝統的建造物群保存地区の新規選定に向けた手続き等に必要な経費を計上
---------------------	------------------------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定の 考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和7年度予算)

事業名	94760 歴史遺産等保存活用事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性			根拠計画	教育振興基本計画、過疎地域持続的発展計画	
						款	9	教育費			ポイント					
						項	4	社会教育費			政策分野	2	こども・教育・交流			
						担当課	教育委員会事務局 文化財課	内線		2355	目	7	文化財費		分野別 施策分野	(3)

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・歴史文化遺産の活用や歴史街道の整備等により、郷土の歴史や文化を次代に伝える。 ・文化財指定されていない文化遺産や郷土の歴史文化などの保存、継承を支援するための制度を創設する。 ・記念物を良好な状態で保存管理するための環境を整備する。 ・美しいふるさと認証制度による郷土愛の醸成や保護活動を促進する。	概要	・歴史街道の調査・整備を行う。 ・伝統的建造物及びその周辺環境や無形文化遺産の調査、記録を行う。 ・文化財標柱・説明看板等を整備する。 ・美しいふるさと認証団体を募集し認証する。
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R11目標
「文化財や伝承芸能が保存・継承され、郷土の歴史文化に誇りを持っている」と感じている市民の割合	72.9%		
美しいふるさとの認証団体数(累計)	138団体		
国・県指定・登録文化財の件数	178件		

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6			(千円)
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
		8,910	7,727	3,820			
特定財源	国費 (地域文化財総合活用推進事業費 5/10)	3,000	1,449	380			
	県費 ()						
	その他(歴史遺産等活用事業雑入)	3,000	2,794				
一般財源		2,910	3,484	3,440			
新規・拡充	主な事業内容						
	歴史講座の開講	290	122	290			
	歴史遺産、伝統文化保存活用事業	2,405	2,301	1,480			
	文化財保存活用地域計画の作成	3,000	2,341	1,850			
	日本遺産の活用	215	169	200			
	金森長近マンガ製作・活用	3,000	2,794				
○ 1	松倉城跡保存活用事業の実施						

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・天然記念物保護管理(臥龍のサクラ、小鳥峠ミズバショウを含む湿原植物群) ・文化財説明看板等製作 3箇所 ・「語り部養成講座」を4回(7講座)開講(延べ194名参加) ・文化財保存活用地域計画市民ワークショップの開催 10回(延べ94名参加) ・文化財の把握調査、リスト化・データベース化 ・日本遺産サイクルラリー、フォトラリー、スタンブラリーの実施 ・「マンガふるさとの偉人 金森長近」の製作
評価等	・地域の貴重な歴史遺産の保護・保存が図られ、郷土学習への活用や伝統文化の継承、保護意識の高まりがみられた。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定 ・多言語化表記の普及も踏まえつつ、計画的な説明看板等の更新・設置を行う。 ・郷土の歴史・文化の語り部を増やす取り組みとして、幅広い分野の講座を継続して開催する。 ・広く地域振興に寄与する取り組みを中心として日本遺産の活用を図る。 ・文化財保存活用地域計画の令和7年度認定に向けて、策定を進める。

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

4.令和7年度予算編成(Action)

R7予算		実施計画額	2,360
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
3,092	2,880	2,360	△ 1,460
			△ 380
3,092	2,880	2,360	△ 1,080
査定額	説明		
290			
1,320			
160			
590			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・伝統文化や文化財の調査・記録による保存・継承と活用に必要な経費を計上
---------------------	-------------------------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定の 考え方	・積算内容を精査 ・松倉城跡保存活用について内容を精査 ・日本遺産久々野地域ウォークラリーコースの設定については、既存コースの利用促進を図ったうえで検討することとし0査定

事業シート(令和7年度予算)

事業名	94760 歴史遺産等保存活用事業費	区分	☐ R6新規	☒ R7新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	教育委員会事務局 文化財課
			☐ R6拡充	☐ R7拡充		款	9	教育費		
枝番・内容	2 松倉城跡保存活用事業		☐ その他重要事業			項	4	社会教育費	内線	2355
			☐			目	7	文化財費	作成年月	R7.2

事業の目的・概要(Plan)

目的	・市民の郷土への愛着の醸成を図り、将来にわたり松倉城跡の着実な保存、継承を行う。 ・地域を対象としたまちづくりの場や、市外からの観光誘客の新たな資源としての活用を図る。	概要	・松倉城跡の国史跡指定を受け、郷土への愛着の醸成及び、新たな観光資源としての活用を図るため記念品を製作
----	---	----	---

[参考] R5決算(Do・Check) R6.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

[参考] R6当初予算(Action) R6.3時点 (千円)

予算額	当初	
主な経費		
対前年度増減額(当初予算)		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

R6決算(Do・Check) R7.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

R7当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	590
主な経費		
対前年度増減額(当初予算)		590

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等		
[事業実績]		
[評価等]		
次年度以降 の考え方 (担当課)		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
[スケジュール]	

事業実績、評価等		
[事業実績]		
[評価等]		
次年度以降 の考え方 (担当課)		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
[スケジュール]	
R7.4～ 事業実施	

事業シート(令和7年度予算)

事業名	94770 高山祭屋台保存修理事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	2	地域活動や産業、福祉など様々な分野における人々への投資	根拠計画	教育振興基本計画		
						款	9	教育費			ポイント	(1)	日々の暮らしと地域活動を支える人づくり				
						項	4	社会教育費		分野別	政策分野	2	こども・教育・交流	市長公約			
						目	7	文化財費			施策分野	(3)	歴史文化				
担当課	教育委員会事務局	文化財課	内線	2354													

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・江戸時代から続く日本有数の祭の一つとして数えられる高山祭の宝として、後世に残していく。	概要	・高山祭屋台及び屋台蔵について、緊急に修理が必要なものから順次修理を行う。
----	--	----	---------------------------------------

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R11目標
「文化財や伝承芸能が保存・継承され。郷土の歴史文化に誇りを持っている」と感じている市民の割合	72.9%		

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6			
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
		41,080	40,467	41,120			
特定財源	国費 (高山祭屋台等保存修理事業費1/2)	20,000	20,233	20,500			
	県費 (高山祭屋台等保存修理事業費1/4)	1,500	2,186	1,500			
	その他(高山祭屋台等保存修理事業費寄附金)	4,000	4,046	4,100			
一般財源		15,580	14,002	15,020			
新規・拡充	主な事業内容						
	高山祭屋台・屋台蔵の修理	41,080	40,467	41,120			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・仙人台、恵比須台、崑崗台、青龍台 修理 ・三番叟屋台蔵 修理
評価等	・国指定重要有形民俗文化財を維持するため、地元や文化庁との調整を行い、計画的に事業を実施した。
次年度以降の考え方(担当課)	・国指定重要有形民俗文化財を維持するため、地元や文化庁との調整を行い、計画的に事業を実施する。 ・設計施工一体型への移行など発注方式の見直しを進める。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

4.令和7年度予算編成(Action)

(千円)

R7予算		実施計画額	42,100
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
42,076	42,100	42,100	980
21,008	21,000	21,000	500
1,000	1,000	1,000	△ 500
4,201	4,200	4,200	100
15,867	15,900	15,900	880
査定額	説明		
42,100			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・国指定重要有形民俗文化財高山祭屋台及び屋台蔵の計画的な保存修理の実施に必要な経費を計上 ・屋台修理技術の継承に必要な経費を計上
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和7年度予算)

事業名	94800 飛騨高山まちの博物館管理事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性			根拠計画	教育振興基本計画
					款	9	教育費			ポイント				
					項	4	社会教育費		分野別		政策分野	2	こども・教育・交流	市長公約
					目	8	文化財施設費			施策分野	(3)	歴史文化		
担当課	教育委員会事務局	文化財課	内線	2977										

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・市民や観光客が気軽に集い憩う中で、城下町高山の歴史や文化に触れることにより、郷土愛の醸成を図る。 ・観光客に高山の歴史を感じてもらうことで高山の魅力を知ってもらい、リピーターを増やす。	概要	・城下町高山を中心とした歴史文化について、資料収集や調査研究、展示、教育普及などの活動を行う。
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R11目標
「文化財や伝承芸能が保存・継承され、郷土の歴史文化に誇りを持っている」と感じている市民の割合	72.9%		
飛騨高山まちの博物館の来館者数(年間)	192,634人		
飛騨高山まちの博物館の公開可能な歴史資料の件数	26,777件		

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
		22,105	20,828	23,925		
特定財源	国費 ()					
	県費 (戦国観光推進事業費1/2)			940		
	その他(文化財施設使用料、市史等販売雑入)			91		
一般財源		22,105	20,828	22,894		
新規・拡充	主な事業内容					
	飛騨高山まちの博物館の管理運営・特別展の開催	22,105	20,828	21,855		
	金森長近生涯500年記念事業			2,070		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・特別展を開催 4回 ・歴史講座等を開催 19回 ・施設利用者数 来館者数 192,634人 研修室利用者数 5,105人
評価等	・郷土資料である陣屋文書や町会所文書を計画的に公開し、歴史研究への活用を図った。 ・様々なテーマの特別展を開催し、郷土の歴史に対する理解を深めた。 ・美術展示室常設展のリニューアルを行った。 ・美術展示室常設展、および特別展の図録を刊行し、広く市民に所蔵資料を紹介した。 ・借用展示している円空仏を県外で展示、紹介し、高山市および博物館のPRにつなげた。 ・民間団体と協働で所蔵資料の調査整理作業を実施した。
次年度以降の考え方 (担当課)	・重点事業である金森長近生涯500年記念事業を実施し、郷土への愛着の醸成、歴史文化の保存、継承を図る。 ・郷土の歴史資料の適正な保存と公開等による活用を図る。 ・計画的に常設展のリニューアルを行う。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方 (担当課)	☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

4.令和7年度予算編成(Action)

(千円)

R7予算		実施計画額	22,251
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
22,264	22,251	22,251	△ 1,674
			△ 940
91	91	91	0
22,173	22,160	22,160	△ 734
査定額	説明		
22,251			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・飛騨高山まちの博物館の管理運営のために必要な経費を計上
---------------------	------------------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定の 考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和7年度予算)

事業名	94810 文化財施設管理事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性			根拠計画	教育振興基本計画	
						款	9	教育費			ポイント					
						項	4	社会教育費		分野別	政策分野	2	こども・教育・交流	市長公約		
						目	8	文化財施設費			施策分野	(3)	歴史文化			
担当課	教育委員会事務局	文化財課	内線	2355												

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・郷土の歴史に対して、興味、関心を深め、文化財愛護意識を高めるとともに、郷土の歴史を次代に伝える。 ・収蔵施設での文化財や歴史資料等の適正な保存・管理 ・発掘調査等出土品の整理・調査研究や考古学関係の講座・学習会等の開催により、郷土の歴史に対する理解を深める。 ・市有文化財施設等の安全・安心な利用を図る。	概要	・指定管理による文化財施設の運営 ・文化財収蔵施設等の維持管理 ・風土記の丘学習センター等の管理運営
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R11目標
「文化財や伝承芸能が保存・継承され、郷土の歴史文化に誇りを持っている」と感じている市民の割合	72.9%		

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
		63,605	59,576	64,642		
特定財源	国費 ()					
	県費 ()					
	その他(敷地占用料、飛驒高山ふるさと基金繰入金)	273	317	295		
一般財源		63,332	59,259	64,347		
新規・拡充	主な事業内容					
	文化財施設の管理	55,605	52,912	63,142		
	施設整備	7,000	5,657	500		
	民具資料の整理調査	1,000	1,007	1,000		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・指定管理7施設入館者数 161,968人 ・風土記の丘学習センター夏休み縄文体験講座等の開催 参加者 土器づくり講座 120人(付き添い含め158人) 勾玉づくり講座 74人(付き添い含め100人)
評価等	・公開施設を指定管理に委託し、効率的な管理・運営を行った。 ・高山市政記念館を開館し、来館者の増加を図った。 ・風土記の丘学習センターにて子ども向け講座(土器づくり、勾玉づくり等)を開催した。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定 ・施設の機能強化や来館者のさらなる増加に向けて対策を講じ、郷土の歴史に親しめる環境づくりを行う。

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

4.令和7年度予算編成(Action)

(千円)

R7予算		実施計画額	67,761
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
63,408	68,011	67,761	3,119
135	297	297	2
63,273	67,714	67,464	3,117
査定額	説明		
66,761			
0			
1,000			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課	・指定管理施設をはじめ、文化財施設の管理運営に必要な経費を計上 予算要求 ポイント ・風土記の丘学習センターの活用の充実に必要な経費を計上 ・民具資料の適切な収蔵や活用のために必要な経費を計上
-----	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定の 考え方	・積算内容を精査

事業シート(令和7年度予算)

事業名	94830 飛騨高山まちの体験交流館管理事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性			根拠計画	教育振興基本計画	
						款	9	教育費			ポイント					
						項	4	社会教育費		分野別	政策分野	2	こども・教育・交流	市長公約		
						目	8	文化財施設費			施策分野	(3)	歴史文化			
担当課	教育委員会事務局	文化財課	内線	2959												

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・体験型の施設として運営することにより、「学び」を主体とする飛騨高山まちの博物館と一体的な機能を発揮し、伝統文化伝承の拠点として歴史的風致の維持及び向上を目指す。	概要	・伝統的工芸品などの実演、体験、展示並びに文化体験等の実施 ・交流広場の提供による特産品PRイベントやまちなか活性化イベント等の実施
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	R5実績	R6実績	R11目標
「文化財や伝承芸能が保存・継承され、郷土の歴史文化に誇りを持っている」と感じている市民の割合	72.9%		

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R5		R6		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
		増減 (b)-(a)				
特定財源	国費 ()					
	県費 ()					
	その他 ()					
一般財源		29,850	27,998	30,800		
新規・拡充	主な事業内容					
	飛騨高山まちの体験交流館の管理運営	29,850	27,998	30,800		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.令和5年度事業実績、評価等(Check) R6.8実施

事業実績	・施設利用者数 来館者数 218,322人 研修室利用者数 2,183人 交流広場利用者数 50,635人 ・実演、体験実績 10,075人 ・交流広場イベント 24件
評価等	・伝統産業や市指定無形民俗文化財の有道しゃくしなどの伝統文化の実演・体験を実施し、伝統文化の振興を図った。 ・教育旅行等に対する飛騨高山まちの博物館との一体的な活用を進めた。 ・民間のノウハウを活かした指定管理施設として運営することにより、実演、体験等の利用者数が増加した。
次年度以降の考え方 (担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R5完了 ☐ R6完了予定 ・指定管理者と連携して、伝統文化の体験の場としての利活用や交流広場における様々なイベントでの利用を促進する。

5.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方 (担当課)	☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ R6完了 ☐ R7完了予定

4.令和7年度予算編成(Action)

(千円)

R7予算		実施計画額	31,790
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
29,793	31,790	31,790	990
29,793	31,790	31,790	990
査定額	説明		
31,790			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

担当課 予算要求 ポイント	・飛騨高山まちの体験交流館の指定管理による管理運営のために必要な経費を計上
---------------------	---------------------------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり